

第三次宇佐市総合計画策定支援業務受託候補者選定基準

区分		評価項目	評価の視点	配点	
業務体制 (40点)	1	法人の業務実績	法人の業務実績は十分であるか。	10	
	2	法人の業務遂行能力	業務に柔軟に対応可能な従業員数を有しており、業務履行に支障が生じるおそれがないか。	5	
	3	実施体制	業務量に見合った人員が配置され、業務が確実に実施できる体制であるか。	10	
	4	実務担当技術者（主）の専門性	実務担当技術者（主）の専門性は十分であるか。（業務実績、保有資格、業務従事期等）	10	
	5	実務担当技術者（副）の専門性	実務担当技術者（副）の専門性は十分であるか。（業務実績、保有資格、業務従事期等）	5	
企画提案 (80点)	6	策定手法	計画策定に当たっての基本的な考え方	本業務の目的及び次期計画の策定に関する基本的な考え方を踏まえた上で、事業者の考え方が整理されているか。	10
	7		計画策定の支援（8の項目を除く）	各業務の実施方針や実施手法は具体的かつ的確か。計画策定支援の内容は充実したものとなっているか。	20
	8		K P I の設定等	K P I の設定等が的確に行える支援の内容となっているか。工夫はあるか。	20
	9		独自提案	提案者が有するノウハウ等を活かした効果的な独自提案が盛り込まれているか。	20
	10		業務実施スケジュール	スケジュールや進行管理が具体的かつ明確であり、無理がなく効率的であるか。	10
プレゼン (15点)	11	取組意欲	取組意欲が感じられるか。	5	
	12	説得力・対応力	説明の論理性に優れ、根拠や知識の裏付けによる説得力があるか。質疑応答に対する的確に対応ができていないか。	10	
価格 (5点)	13	提案価格	提案上限額以内であり、提案に対して適切な金額か。	5	
合計				140	